

教育改革の展望とICTの活用

安西 祐一郎

独立行政法人日本学術振興会理事長，慶應義塾学事顧問

日本の未来を決める教育の大転換が始まりつつある。受け身の教育から能動的学習（アクティブ・ラーニング）への転換である。ICTの活用はその土台の一つとしてきわめて重要な役割を果たす。本講演では、今始まりつつある教育改革を展望するとともに、改革の中でICTの活用が果たすべき役割について、講演者の私見を含めて解説する。

講演者略歴

昭和 49(1974)年 慶應義塾大学大学院工学研究科博士課程修了 昭和 60(1985)年 北海道大学文学部・同大学院文学研究科助教授 昭和 63(1988)年～平成 23(2011)年 慶應義塾大学理工学部・同大学院理工学研究科教授 平成 5(1993)年～平成 13(2001)年

慶應義塾大学理工学部長・大学院理工学研究科委員長 平成 13(2001)年～平成 21(2009)年 慶應義塾長 平成 23(2011)年～現在 独立行政法人日本学術振興会理事長
その間、カーネギーメロン大学コンピュータ科学科・心理学科博士研究員、同大学人文社会科学部客員助教授、マギル大学医学教育センター客員教授。

中央教育審議会会長、高大接続システム改革会議座長、環太平洋大学協会（Association of Pacific Rim Universities; APRU）会長、社団法人情報処理学会会長、日本認知科学学会会長、日本学術会議会員等を歴任。

専門は認知科学・情報科学